

読者の声

■心理学ワールド、楽しく読ませていただいています。先生方が示された多くの知見に触れることができ、自らと照らし合わせたり刺激を受けたりと、語りつくせない魅力が詰まっていると思います。51号より表紙やフォーマットがリニューアルされて、ますます「手にとって読みたい」という気持ちが高まりました。カラー印刷になった写真やイラストの効果はもちろん、各ページのフォーマットや、コーナーのタイトルに施された工夫も、「学会が発行している難しい本だ!」という構えを解消して、気軽にうきうきした気持ちを促進してくれています。これからの心理学ワールドにも期待しております。(20代女性)

■いつも楽しく拝読させていただいています。vol. 54「絵画をめぐる心理学」も大変、興味深い内容ばかりでした。「絵画をめぐる」というタイトルからは、「知覚」や「錯視」といったワードが思い浮かびます。そして、初めて錯視の不思議に心躍らせた頃を、少し懐かしむような気持ちで、この号を手に取りました。しかし、読み始めてみると、最前線の先生方から発せられる最新の知見やユニークなお話には大変驚かされ、楽しませていただきました。自分の「青春の甘い思い出」がモナリザ

効果でなかったことを祈るばかりです。それでは、次号も、楽しみにしております。(20代男性)

■いつも楽しく拝見しています。ふだんは自分の研究テーマに沿った論文などにしか目が配れないのですが、「心理学ワールド」を通して、それまであまり関心を向けていなかったことについてもわかりやすく知ることが出来るので助かります。私は心理学史が好きなのですが、誌面がカラーになったことで、写真などがいっそう楽しみになりました。また、先生たちの研究とは一味違う面が拝見できるコラムも興味深いです。たまに家族に一冊見せると、ほかの号も読みたいといわれて、まとめて渡すこともあります。これからまた、どんな記事が新たな興味の扉を開いてくれるのか? 今後も期待しております。(20代女性)

■興味深いテーマの特集記事も毎号楽しく拝読いたしておりますが、最近始まった、写真、音楽、鉄道の話など、先生方の幅広いご趣味をご紹介いただく新コーナーの「心理学ライフ」も、先生方の意外(?)なプロフィールを知ることができ、いつも楽しみにしている記事の一つです。とりわけ、これまでご登場されたどの先生方も、ご趣味とされている領域を相当極めていらっしゃるようにお見受けされて、研究を生業にされている方々の凄さをひしひしと感じます。と同時に、心理学がさまざま

な領域に開かれる可能性をもった学問だということ、先生方の多彩なご趣味と関連する心理学の話題を通じて、改めて認識いたします。今後も楽しみにしています。(30代女性)

■いつも楽しく貴誌の記事を拝読しています。どの記事も、心理学の多様な話題に触れることができたいへん興味深いのですが、「自著を語る」のコーナーでは、いつも良い新刊本がご紹介されているうえ、本をお書きになられた先生自らその本の魅力をご紹介されるという点で、とりわけ他誌にない出色の書評コーナーだと思います。大学の講義でテキスト採用する本を選ぶ際にも、貴誌の情報がたいへん参考になります。今後も面白く、良質な心理学読み物としての、貴誌のますますのご活躍を期待します。(40代男性)

■毎号楽しみに拝読しています。留学体験をご紹介する連載記事など、国内のみならず、世界に研究を発信していくことにも常に目を向けた、スケールの大きな企画に感心しています。54号の学会企画シンポジウム特別企画でも、その点、大きく取り上げられていましたね。これから海外に行かれる日本の若い研究者にとっても、きっとたいへん勇気づけられますように思います。これからも期待しています。(70代男性)

読者の声 投稿募集中!

新しくなった『心理学ワールド』への、ご意見・ご感想をお待ちしています。

●送付先

〒101-0051 千代田区神田神保町2-10 (株)新曜社 第一編集部
morimitsu@shin-yo-sha.co.jp

投稿は、お葉書・Eメールどちらでもけっこうです。世代と性別をあわせてお知らせください。